

平成28年度

第3回 関東森林管理局国有林材供給調整検討委員会

日 時 : 平成28年12月21日(水)
13:00~15:00

場 所 : 関東森林管理局
東京事務所 会議室

次 第

1. 開 会

2. 議 事

(1) 木材の需給動向について

- ① 木材の需給、価格等の動向
- ② 関東局における国有林材の供給状況

(2) 国有林材供給調整の必要性について(審議)

3. 閉 会

第3回 関東森林管理局国有林材供給調整検討委員会 出席者名簿

(五十音順・敬称略)

所 属 ・ 役 職 名	氏 名
財団法人 林業経済研究所 研究員	荒谷 明日兒
株式会社フジイチ 代表取締役社長	石野 秀一
栃木県森林組合連合会 参事	枝 任郎
福島県郡山地区木材製材協同組合 福島県中央木材市場 専務理事	遠藤 和憲
栃木県 県西環境森林事務所 林業経営第一課長	川上 晴代
協和木材株式会社 代表取締役	佐川 廣興
有限会社佐川運送 代表取締役社長	佐川 文教
静岡県森林組合連合会 代表理事常務	望月 鉄彦

平成28年度 第3回関東森林管理局国有林材供給調整検討委員会 議事概要

1. 開催日時・場所

平成28年12月21日(水) 13:00~15:00

関東森林管理局 東京事務所会議室

2. 検討結果

需給動向や各委員からの状況報告等を総合的に勘案した結果、現時点において国有林材の供給調整を実施する必要はない。

3. 主な意見

(1) 需給動向について

○住宅着工が好調でプレカット工場は高水準の稼働が続いており、製材品価格も品薄感から値上がりしている。

○丸太の価格は据え置きで推移しており、来春の需要動向が読み切れないためか、値上げにはかなり慎重に対応しているように感じられる。

○静岡県では県産材を使用した住宅に対する助成事業の効果もあり住宅着工戸数が増えており、それに伴って特にヒノキ構造材が急騰している。ただ、需要が一部に限られており一般材への波及は見られない。

(2) 各委員からの状況報告等について

○丸太の増産による安定供給の実現には限界があるので、製材工場で在庫を確保しておける支援策が必要なのではないか。

○森林認証については、オリンピック・パラリンピック後を見据えて消費者にどのようにPRしていくかが課題となっている。

○木材の利用を促進すると同時に、製材品の価格を安定した適正価格に保つことができれば、山林所有者の自立につながると思う。

○円安が進んでいるので、外材産地のヨーロッパ・カナダの状況を注視している。